

令和4年度 事業実績

社会福祉法人 豊岡市社会福祉協議会

目 次

1. 組織運営体制の強化 -----	3
2. 財政基盤・組織経営の強化 -----	4
3. 包括的支援体制整備・地域福祉ネットワークづくりの強化・充実 -----	6
4. 地域における利用者本位の福祉サービスの実現 -----	24
5. 様々な地域課題に対応する人材育成と確保 -----	28
6. 社協活動の見える化・透明性の確保 -----	29
7. 法人運営 -----	32

【豊岡市社会福祉協議会 基本理念】

「一人ひとりが つながり 支え合う 安心な地域づくり」

【豊岡市社会福祉協議会 使命】

1. 多様なネットワークの構築と、住民主体の地域福祉を推進する。
2. 住民がその人らしい豊かな在宅生活を送るための支援を行う。
3. 確固たる組織経営を構築する。

はじめに

新型コロナウイルス感染症の第7波、第8波は、新規感染者がこれまでの最高を記録し、豊岡市社会福協議会（以下「豊岡市社協」という。）の職員や家族においても感染者が急増したことで、介護サービス事業においてはサービス提供に大きな支障をきたしました。また、地域行事やふれあいいきいきサロン等の中止による住民同士の交流機会の減少や、ボランティア活動の減少による地域のつながり・支え合いの低下が懸念される状況が続いており、コロナ禍による社会的孤立や生活困窮から地域生活課題が複雑化・多様化しています。

豊岡市社協では、生きづらさを抱える方を含め様々な住民の地域生活を支え、その人らしく役割、生きがいを持って暮らし続けられる地域づくりのために、地域住民、社会福祉法人、企業、市等と連携・協働して地域共生社会の実現に向けて取り組みました。

豊岡市地域福祉計画（令和4年度～8年度）については、支え合いの地域づくりの推進を重点的に取り組み、特に移動・交通の課題解決に向けて住民が主体的に取り組む体制づくりの支援を行いました。また、協働で進める地域づくりの推進は、企業・団体等と連携を強化するために、全但社会福祉協議会連絡会で「災害時の相互応援に関する協定書」、買物支援と見守り活動の連携強化のためにコープこうべと「豊岡市における買物困難者等への支援に関する協定書」の締結を行いました。

第2次基盤強化計画（平成31年度～令和5年度）、中長期経営計画（令和2年度～5年度）の中間報告を取りまとめ、計画の達成状況や計画の見直しの検討を行いました。

介護サービスの健全化に向けて、慢性的な人材不足と赤字が続いていた豊岡西デイサービスセンターを廃止しました。また、職員体制と利用者ニーズを最適化するため各デイサービスセンターの営業日を週6日から5日に変更しました。さらに、介護職員の人材不足を解決するために人材確保計画に基づき、2次募集の採用試験の実施、高校指定校求人制度や職員紹介制度の新たな取り組みを行いました。

安定的で継続的な地域福祉の推進を図るために、人件費補助の増額に向けて豊岡市と協議を重ね要望書を提出し、豊岡市からは補助金の増額について検討すると回答をいただきました。

善意銀行の役割を住民により理解していただくために、市内の福祉活動や善意銀行の使いみちを発信する豊岡市福祉情報ポータルサイト「とよニコ」を令和4年3月に開設し、市民ライターが定期的に福祉情報の発信をしています。そのなかで、市民ライターが福祉の専門職を招いて意見交換する場が生まれており、普段の暮らしの中での困りごとや支え合いの活動の様子は若い世代の共感も得ています。

災害時の連携・協力体制強化においては、災害時にボランティアを送迎する車両の確保のため、株式会社トヨタレンタリース兵庫、株式会社トヨタレンタリース神戸と「災害時における輸送車両等貸与の協力に関する協定書」の締結を行いました。

1. 組織運営体制の強化

豊岡市地域福祉計画の2つの基本目標「住民の主体的な地域づくり」「総合的・包括的な相談支援体制づくり」の達成にむけて、地域支援担当職員、相談支援担当職員、介護サービス事業所職員、事務職員、全ての職員が連携し、地域支援と個別支援を一体的に推進する組織運営体制の強化に取り組みました。

(1) 住民ニーズ、地域課題の解決に向けた組織内連携の強化

① 地域福祉推進のための組織内協議の場の強化・連携

全ての職員が連携し地域福祉を推進するため、旧市町圏域ごとに圏域ミーティング（組織内協議の場）を開催しました。各部署の事業活動の進捗状況や情報の共有、圏域内の社会資源の整理、事例検討等を通じて、地域支援と個別支援の一体的な推進に向けて取り組みました。

また、地域福祉計画の推進を図る圏域行動計画コアメンバー会議を旧市町圏域ごとに開催しました。

基本目標	取り組みに対する評価					
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">住民の主体的な地域づくり</p>	<p>○障がい者の社会参加・活躍の場の創出として、つながるマルシェや見守り個配サービス事業の立ち上げ・実施 ※つながるマルシェ…福祉作業所の小さな出店ブースが集まって開かれる販売会 ○ICTを活用した社会資源の見える化(買い物支援マップ) ○障がい者の社会参加・交流機会として、(一社)豊岡アートアクションと協働して、即興ダンスワークショップを実施 ○全但バス株式会社と協働し、バスの乗り方動画(シルバーカー、車イス編)を作成 ○小学校の福祉学習を通じて、児童が主体的に企画した活動を地域住民とコミュニティ組織が実施</p>					
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">総合的・包括的な相談支援体制づくり</p>	<p>○「集落福祉ミニフォーラム」(但東地域)を開催し、区長、民生委員・児童委員、福祉委員、コミュニティ組織関係者が、今後の連携・ネットワークづくりのヒントや方向性を探る機会として実施 ○多機関協働による複合多問題世帯の課題解決に向けての実践 (例1)すべての支援を拒否する方のケース</p> <table border="1" data-bbox="375 1444 1398 1630"> <tr> <td data-bbox="375 1444 794 1630"> <p>【課題】 電気、ガスが料金滞納のため利用停止。夜中に自宅前をうろろろすることがある。 本人はすべての支援を拒否。無料の食料品の提供も受け入れない。</p> </td> <td data-bbox="794 1444 1398 1630"> <p>【対応】 個別ケア会議は、区長、駐在所、郵便局員、民生委員・児童委員、保健師、社協支所職員、地域包括支援センター職員で開催しました。 電気代等の滞納は、親族が対応。個別ケア会議の出席者と地域住民でゆるやかな見守り活動を始めました。</p> </td> </tr> </table> <p>(例2)買物の支援を企業と地域コミュニティ組織と連携したケース</p> <table border="1" data-bbox="375 1668 1398 2069"> <tr> <td data-bbox="375 1668 794 2069"> <p>【課題】 遠方の家族が、8050世帯の「買い物支援をなんとかしてほしい」という相談。 企業・障がい者団体・社協との連携で始まっている「見守り個配サービス」の契約までに、2週間は買い物に困る。</p> </td> <td data-bbox="794 1668 1398 2069"> <p>【対応】 ①「見守り個配サービス」を運営する障がい者団体は、職員体制の問題があり、新規の利用が難しい中、希望者の情報共有を行いました。「こんな場合こそ、このサービスは必要」 ②見守り個配サービスの契約までに、空白期間が2週間。その間に「まごのて」の買い物代行が利用できないかコミュニティ組織事務局と話し合いました。利用時の対応に不安を持たれていたため、地域包括がかかわっていることなど、その方の取り巻く状況を共有しました。地域マネージャーが、もし部会員が不在などで、活動が出来ないときには、自ら「住民として活動に参加する。」「お互い様なので、出来る事があれば協力する。」と話されました。</p> </td> </tr> </table>		<p>【課題】 電気、ガスが料金滞納のため利用停止。夜中に自宅前をうろろろすることがある。 本人はすべての支援を拒否。無料の食料品の提供も受け入れない。</p>	<p>【対応】 個別ケア会議は、区長、駐在所、郵便局員、民生委員・児童委員、保健師、社協支所職員、地域包括支援センター職員で開催しました。 電気代等の滞納は、親族が対応。個別ケア会議の出席者と地域住民でゆるやかな見守り活動を始めました。</p>	<p>【課題】 遠方の家族が、8050世帯の「買い物支援をなんとかしてほしい」という相談。 企業・障がい者団体・社協との連携で始まっている「見守り個配サービス」の契約までに、2週間は買い物に困る。</p>	<p>【対応】 ①「見守り個配サービス」を運営する障がい者団体は、職員体制の問題があり、新規の利用が難しい中、希望者の情報共有を行いました。「こんな場合こそ、このサービスは必要」 ②見守り個配サービスの契約までに、空白期間が2週間。その間に「まごのて」の買い物代行が利用できないかコミュニティ組織事務局と話し合いました。利用時の対応に不安を持たれていたため、地域包括がかかわっていることなど、その方の取り巻く状況を共有しました。地域マネージャーが、もし部会員が不在などで、活動が出来ないときには、自ら「住民として活動に参加する。」「お互い様なので、出来る事があれば協力する。」と話されました。</p>
<p>【課題】 電気、ガスが料金滞納のため利用停止。夜中に自宅前をうろろろすることがある。 本人はすべての支援を拒否。無料の食料品の提供も受け入れない。</p>	<p>【対応】 個別ケア会議は、区長、駐在所、郵便局員、民生委員・児童委員、保健師、社協支所職員、地域包括支援センター職員で開催しました。 電気代等の滞納は、親族が対応。個別ケア会議の出席者と地域住民でゆるやかな見守り活動を始めました。</p>					
<p>【課題】 遠方の家族が、8050世帯の「買い物支援をなんとかしてほしい」という相談。 企業・障がい者団体・社協との連携で始まっている「見守り個配サービス」の契約までに、2週間は買い物に困る。</p>	<p>【対応】 ①「見守り個配サービス」を運営する障がい者団体は、職員体制の問題があり、新規の利用が難しい中、希望者の情報共有を行いました。「こんな場合こそ、このサービスは必要」 ②見守り個配サービスの契約までに、空白期間が2週間。その間に「まごのて」の買い物代行が利用できないかコミュニティ組織事務局と話し合いました。利用時の対応に不安を持たれていたため、地域包括がかかわっていることなど、その方の取り巻く状況を共有しました。地域マネージャーが、もし部会員が不在などで、活動が出来ないときには、自ら「住民として活動に参加する。」「お互い様なので、出来る事があれば協力する。」と話されました。</p>					

(2) 目標管理による確実な組織運営、事業計画・予算目標の実行

基盤強化計画に位置づけた取り組みを着実に実行していくために、課長補佐以上の管理職を対象とした目標管理制度に基づいて進捗管理に取り組みました。

課	項目	進捗状況
企画総務課	基盤強化計画、中長期経営計画の進捗管理	○各計画の中間見直しの策定を行いました
	災害時事業継続計画(BCP)の作成	○全但社会福祉協議会開催の研修会で、策定手順等を学びました
	働きやすい職場環境づくりの整備	○外部カウンセラーの導入、体験実施、希望者への実施しました ○定時退社の取り組みの意識が向上しました
地域福祉課	地域福祉計画の推進	○組織全体で計画を推進していくために、段階的に学習会を開催し職員へ周知した上で、行動計画を部署ごとに作成し、圏域ミーティング、コアメンバー会議で振り返りを実施しました
	総合相談支援体制の構築	○個別支援部門・地域支援部門がお互いに業務を理解するために、地域福祉課全体の学習会を実施しました ○先進地社協の取り組みを通じ、地域住民・企業・団体など新たなつながりづくりの視点の持ち方、発想力を学びました
在宅福祉課	介護保険事業の利用者の確保	○利用者数目標達成率 ケアプランセンター 97.7% ヘルパーステーション 95.9% デイサービスセンター 92.7% 訪問入浴事業 109.3% 小規模多機能型居宅介護事業 90.9%

2. 財政基盤・組織経営の強化

豊岡市社協が確固たる組織経営を構築し、住民のその人らしく豊かな在宅生活を守りきるためには、財政基盤の柱である介護サービスで安定的に収益を確保することが必要です。

その一方で、社協は行政のパートナーとして地域福祉を推進するため、本来事業や組織運営の財源である市からの人件費補助の増額について市に要望書を提出しました。

(1) 第2次基盤強化計画の中間見直し

平成31年度から令和5年度の5ヶ年計画の中間見直しは、取り組みの進捗状況、成果、課題を検証し、評価委員会の評価・提言を踏まえつつ、現状と評価指標・取り組み内容等に乖離があるものについては計画の見直しを行いました。

その結果、安定的で継続的な財源確保による経営基盤の強化、人材確保・育成等の重点的な強化を図ることにしました。具体的には、「スマイルプロジェクト」を設置し、職場環境、人事制度、人材育成等の課題を調査・分析、改善提案する取り組みを開始しました。

(2) 中長期経営計画の中間見直し

令和2年度から令和5年度の4ヶ年計画の中間見直しは、介護サービス事業の計画数値と実績数値の比較、具体的な改善計画の進捗状況を分析し、経営戦略部会、在宅福祉部会で検討を行いました。

豊岡西デイサービスセンターは、慢性的な人材不足と赤字経営の状況が今後も続くことが見込まれることから、令和4年度末をもって廃止することにしました。

また、各デイサービスセンター（豊岡港、竹野、日高西、日高東、但東）は、介護職員の確保が困難なことから、現状のサービス運営では継続的で安定的なサービス提供が困難なことから、令和5年度より週6日から週5日の営業日に変更することとしました。

(3) 介護サービス事業の健全経営に向けた強化・充実

利用者のその人らしい豊かな在宅生活を守りきるために、財政面においても確実な収益を確保して安定的な経営の継続に努めました。

採算性の確保に向け、主任介護支援専門員や介護福祉士等の積極的な資格取得・研修受講により、質の高いサービスの提供を実施し、介護職員処遇改善加算Ⅰ及びサービス提供体制強化加算を取得、特定事業所加算の算定要件の維持を図りました。

また、介護サービスの質の向上を目的に年次計画に基づく研修を通じた人材育成も行いました。

主な研修内容

- 介護支援専門員・主任介護支援専門員更新研修
- 介護福祉士実務者研修
- 認知症研修
- 事例検討会・介護技術研修

3. 包括的支援体制整備・地域福祉ネットワークづくりの強化・充実

地域福祉計画の基本目標①住民の主体的な地域づくりを基に、行政区・地区圏域における支え合いの地域づくりを、住民や関係機関・団体とともに推進しました。また、地域課題の解決に向け、関係機関や企業、団体等との地域福祉ネットワークの構築に取り組みました。

基本目標②総合的・包括的な相談支援体制づくりを基に、多様化・複雑化する住民のさまざまな困りごとを受け止め、解決に向け市や関係機関、地域と連携・協働する包括的な支援体制の構築に取り組みました。

【地域課題の解決に向けた具体的な活動】

把握した課題	主な取り組み内容
買い物支援困難者の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援ネットワーク会議 ・買い物支援マップ作成 ・見守り個配サービス事業開始 ・福祉車両の活用(サロン送迎、買い物支援等) ・バスの乗り方動画作成 ・買い物支援団体等支援
移動困難者の課題	
認知症の方の生活課題	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェ支援 ・地域における福祉相談窓口 ・地域福祉連絡会 ・サロン等、地域の居場所の推進 ・豊岡市社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネットとよおか)
見守り・声かけ等の課題	
高齢者等のつながり・健康課題	
地域活動者の担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> ・企業・団体等の地域貢献活動把握 ・サークル活動等の把握 ・地域福祉研修会
民生委員等の担い手負担増	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉連絡会
障がい者等、社会参加の機会	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り個配サービス事業開始 ・こども食堂支援
災害時要援護者等の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・防災研修等 ・災害時要援護者の支援検討

(1) 多様なネットワークによる住民ニーズ・地域課題把握、社会資源開発の検討

地域福祉推進において、4つのエリア階層（行政区圏域、地区圏域、旧市町圏域、市圏域）で活動を展開しました。行政区及び地区圏域においては、集いの場、話し合いの場を地域住民との協働により進め、支え合いの基盤の再構築を重点的に取り組みました。

旧市町圏域、市圏域では解決に向けて取り組む地域課題を『外出（移動・交通）』に絞り、外出課題のヒアリング調査結果に基づいて、地域住民主体の課題解決に向けた取り組み、関係団体や企業等との課題解決に向けた取り組み（社会資源開発）について検討を行いました。

① 行政区及び地区における支え合いの基盤づくりの推進

支え合いの地域づくりに向けて、住民同士の交流を広げるふれあいいいききサロン等の集いの場づくり、地域の福祉課題を共有し、解決に向けた話し合いや取り組みを行う福祉委員会や協議体等の話し合いの場づくりを住民との協働により推進しました。住民との協

働の過程において、地域が主体性を発揮して継続的に取り組めるよう、コミュニティワーカーと生活支援コーディネーターが役割分担を行い、連携した地域支援を展開しました。

【いきいきサロン助成件数】 (単位:件)

令和4年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
行政区	97	18	26	51	41	32	265
地域コミュニティ組織	9	1	3	4	4	3	24

※助成金額:行政区 1年目…5万円 2～5年目…2万円 6年目…3万円 7年目以降…2万円
(6年目のサロンは経過措置期間。現行規程では2万円)

地域コミュニティ組織 4万円

【支え合いの地域づくり活動助成件数】 (単位:件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
令和3年度	106	11	18	33	30	11	209
令和4年度	113	12	18	31	30	11	215

※助成金額:行政区 上限2万円

【協議体(地域サポート会議)の設置状況】 (市委託事業) (単位:地区)

令和4年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
地区	10	1	3	6	6	3	29
設置	8	1	3	4	6	4	26

生活支援コーディネーターが地域コミュニティ組織の福祉部等へ参画し、『協議体(地域サポート会議)』を通じた地域福祉推進に取り組みました。協議体において、地域課題の整理、住民主体による解決への取り組みの検討、地域人材の育成の取り組み等の支援を継続して行い、地区圏域における住民、事業所等のネットワークづくりや地域の支え合いの基盤づくりを進めました。

【具体的な取組】

- ・生活支援ボランティアの支援・検討
- ・移動交通・買い物支援の検討(福祉車両の活用)
- ・福祉連絡会等の実施による福祉人材の拡充
- ・地域福祉研修会の実施
- ・防災活動の支援(災害ボランティアグループ支援、かまどベンチ作製支援等)

② 新たな外出支援の推進

住民主体の外出課題の解決の仕組みづくりをめざし、社協の役割を①地域住民の課題解決の取り組みのサポート・バックアップ、②住民主体の活動を支える社会資源の開発(企業・団体・行政等との連携)として取り組みを進めました。

具体的な取り組みとしては、地域の外出課題の共有、課題解決に向けた意見交換を進める中で、福祉車両を活用した地域行事への送迎や買い物支援を住民が主体的に実施できるようにサポートを行いました。

【福祉車両を活用した住民主体の送迎支援の実績】

項目	件数
地域コミュニティ組織	21 件
行政区	8 件

生活支援コーディネーターは、企業や団体との地域福祉ネットワークの構築において、一般社団法人ちいきのて、一般社団法人ケアと暮らしの編集社等の中間支援組織や生活協同組合コープこうべ、株式会社さとう、株式会社ガンピー等の関係団体や企業、市との連携のもと、地域課題（買い物・移動交通等）の解決の取り組みに向けたコーディネート、社会資源開発において中心的な役割を果たしています。

【具体的な取組】

- ・買い物支援ネットワーク会議による買い物支援の検討（買い物支援マップ）
- ・各企業との買い物支援等の意見交換の構築（生活協同組合コープこうべ、株式会社ガンピー、株式会社さとう、ローソン、J A たじま）
- ・見守り個配サービス事業の構築
- ・全但バス株式会社と移動交通課題の検討（バスの乗降方法の動画作成）

③ 豊岡市社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネットとよおか）への参画

社会福祉法人の専門性を活かした連携・協働を通じて地域福祉推進への寄与をめざす「社会福祉法人連絡協議会」（市内全 23 法人 26 事業所の参画）の事務局を担いました。

感染症流行時や大規模災害時に、事業運営に必要な備品・消耗品が不足することがないように会員法人間で備品・消耗品の貸与を行う「災害時等助け合い事業」を立ち上げ、各会員法人の備品・消耗品の数量調査を実施しました。

ほっとかへんネットとよおかの地域貢献活動の第一歩として、また会員法人相互の関係づくりを目的に地域圏域単位或いは各施設で地域のゴミ拾い活動に取り組みました。

項目	取り組み内容
令和4年度総会 4月13日	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度事業報告及び会計決算報告 ○災害時等助け合い事業(案) ○令和4年度事業計画(案)・会計予算(案) ○役員選任
第1回実務担当者会議 7月8日	<ul style="list-style-type: none"> ○グループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・各法人・事業所によるゴミ拾いについて ・ほっとかへんネットとよおかのPR方法について
第2回実務担当者会議 11月14日	<ul style="list-style-type: none"> ○中央公園（ふれあい）と周辺歩道等のゴミ拾いを実施 ○グループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・各圏域でのゴミ拾いの実施について ○PR用のマグネットステッカー、のぼり旗の配布
第3回実務担当者会議 3月1日	<ul style="list-style-type: none"> ○講演「ほっとかへんネット南あわじの歩み」(Zoom形式) 講師: 平見 明子 氏(南あわじ市社会福祉協議会 地域生活支援部) 阿部 浩央 氏(南淡在宅介護支援センター やすらぎ) ○グループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・ほっとかへんネットとよおかとしての人材確保について

④ 災害時の連携・協力体制の強化

大規模災害発生時に、迅速に災害ボランティアセンターを開設・運営できる体制構築をめざし、全但社会福祉協議会連絡会で「災害時の相互応援に関する協定書」の締結を行い、被災地社協からの応援要請を受け、他の社協が職員を派遣する体制の構築を行いました。

また、豊岡青年会議所、豊岡商工会議所青年部、豊岡市商工会青年部、豊岡市、本会との5者による災害ボランティアセンター運営にかかる訓練を実施し、災害時の連携・協力体制の強化を図りました。本年度は、豊岡ライオンズクラブ、出石ライオンズクラブ、豊岡亀城ライオンズクラブ、たすけあい隊O.V.Gの参加協力があり、ボランティア役と運営スタッフ役に分かれて実践的な訓練をすることができました。

前年度の訓練で課題となっていた災害時にボランティアを送迎するための車両の確保は、株式会社トヨタレンタリース兵庫、株式会社トヨタレンタリース神戸と「災害時における輸送車両等貸与の協力に関する協定書」の締結を行いました。

⑤ ボランティア・市民活動、福祉学習の推進

ボランティア活動を通じて、住民や地域をエンパワーメントする支援を行い、支え合いの地域づくりを推進するためボランティア・市民活動センターを運営しました。ボランティア活動を希望する人と、ボランティアの力を必要とする人とをつなぐ活動のコーディネート、個人ボランティアやグループの活動環境整備等の支援を行いました。また、障がいや高齢者等の理解を図り、地域で支え合う大切さ等を学ぶ福祉学習を小中高等学校や当事者ボランティアと連携・協働して進めました。

しかし、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大によりボランティア活動先の受け入れ減少に伴い、活動のコーディネート件数も減少し、ボランティア活動の後退が懸念されます。ボランティア活動の啓発として、ボランティア・市民活動センターのチラシ作成やホームページの修正、社協広報紙「NIKO」によるボランティアグループ紹介を実施しました。また、ボランティア活動担当者会議等による職員の意識統一を図り、ボランティア活動・福祉学習推進に向けて取り組みました。

【ボランティア登録数】

(単位:人)

	年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
グループ数	R3	43	10	6	18	18	8	103
	R4	43	10	6	17	18	8	102
加入者数	R3	708	117	185	251	294	246	1,801
	R4	708	116	179	284	259	247	1,793
個人登録者	R3	312	26	8	5	10	69	430
	R4	312	26	8	5	11	74	436

【コーディネーター件数】

(単位:件)

	年 度	豊 岡	城 崎	竹 野	日 高	出 石	但 東	合 計
ボランティア 活動の相談・ 問い合わせ	R3	358	86	21	87	114	66	732
	R4	398	32	32	100	50	92	704
コーディネーター 件数	R3	158	34	294	12	27	307	832
	R4	154	24	289	24	20	289	800

【障がい者(児)の集える場づくり】 (市委託事業)

障がい者(児)の社会参加の機会、当事者同士や地域住民との仲間づくり等を目的として、気軽に集える居場所づくりを開催しました。企画・運営、実施までの準備等に関して、地域住民や学生の主体性を引き出しながら、障がい者(児)の居場所として定着化を進めました。

地 域	開 催 日	場 所	参加者数
豊 岡	6月26日	五荘地区コミュニティセンター	19人
	7月3日	豊岡健康福祉センター	12人
	8月21日	豊岡健康福祉センター	12人
	9月11日	豊岡健康福祉センター	10人
	11月20日	豊岡健康福祉センター	10人
	12月11日	五荘地区コミュニティセンター	11人
	2月26日	五荘地区コミュニティセンター	14人
	3月12日	豊岡健康福祉センター	12人
城 崎	7月2日	城崎健康福祉センター	35人
	9月3日	城崎健康福祉センター	32人
	12月3日	城崎健康福祉センター	28人
	3月8日	城崎健康福祉センター	29人
日 高	7月3日	日高健康福祉センター	22人
	9月3日	日高健康福祉センター	40人
	12月10日	日高健康福祉センター	48人
	3月11日	日高健康福祉センター	25人
出 石	7月16日	出石健康福祉センター	38人
	9月10日	出石健康福祉センター	43人
	11月26日	出石健康福祉センター	46人
	2月18日	出石健康福祉センター	32人
但 東	6月25日	但東健康福祉センター	30人
	7月30日	但東健康福祉センター	20人
	11月12日	但東健康福祉センター	25人
	12月10日	但東健康福祉センター	30人
	3月11日	但東健康福祉センター	23人

【児童・生徒のボランティア活動推進事業助成件数】

豊岡市内小・中・高等学校の児童・生徒を対象として、社会福祉への理解と関心を高めるとともに、地域住民と協働し福祉活動をすることにより自分たちの住む地域に目を向け、

地域社会への愛着を高め、「福祉の心」を培うことを目的とする活動を行う学校に、年間5万円の助成を行いました。

(単位:件)

	令和3年度	令和4年度
小学校	27	25
中学校	9	9
高等学校	7	7
合計	43	41

【福祉学習支援内容】

障がいのある当事者やボランティアグループ等と協働し、小・中・高等学校の福祉学習のサポートを行いました。体験学習や当事者の講話を聞くことを通じて、児童・生徒の障がいへの理解や思いやりの心を育む働きかけを行いました。

地域	学校名	開催日	参加者数	内容
豊岡	神美小学校	9月27日	23人	認知症サポーター養成講座
	神美小学校	9月30日	23人	車椅子体験 車椅子ユーザー講話
	神美小学校	10月6日	23人	アイマスク体験 視覚障がい者講話
	八条小学校	10月6日	54人	聴覚障害者センター
	豊岡総合高校	10月6日	7人	点字体験 さざなみの会
	中筋小学校	10月7日	12人	車椅子体験 車椅子ユーザー講話
	豊岡総合高校	10月11日	6人	点字体験 さざなみの会
	中筋小学校	10月13日	12人	アイマスク体験 視覚障がい者講話
	八条小学校	10月20日	54人	アイマスク体験 視覚障がい者講話
	豊岡小学校	10月21日	53人	アイマスク体験 視覚障がい者講話
	新田小学校	10月27日	37人	アイマスク体験 視覚障がい者講話
	八条小学校	10月28日	54人	車椅子体験 車椅子ユーザー講話
	豊岡小学校	11月1日	53人	車椅子体験
	中筋小学校	11月10日	12人	認知症サポーター養成講座
	豊岡小学校	11月11日	53人	車椅子ユーザー講話
	三江小学校	11月24日	24人	アイマスク体験 視覚障がい者講話
	豊岡総合高校	1月12日	7人	認知症サポーター養成講座
	豊岡総合高校	1月19日	7人	アイマスク体験 視覚障がい者講話
	豊岡総合高校	1月24日	6人	認知症サポーター養成講座
	豊岡南中学校	1月26日	182人	認知症サポーター養成講座
豊岡総合高校	1月31日	6人	アイマスク体験 視覚障がい者講話	
豊岡北中学校	2月26日	179人	アイマスク体験 視覚障がい者講話	
豊岡北中学校	3月17日	152人	車椅子体験 車椅子ユーザー講話	
城崎	港小学校	7月1日	31人	アイマスク体験
	港小学校	12月21日	23人	認知症サポーター養成講座
	城崎小学校	6月20日	30人	アイマスク体験
	城崎小学校	10月19日	30人	車いす体験
竹野	竹野小学校	6月22日	21人	高齢者疑似体験
		6月29日	21人	認知症サポーター養成講座

		7月1日	21人	車いす体験(当事者の話)
		7月6日	21人	体験学習を終えて振り返り
日高	三方小学校	6月25日	17人	点字学習(貸出しのみ)
	八代小学校	11月25日	13人	視覚障がい者の生活(当事者のお話)・アイマスク体験
		11月28日	11人	車いす体験
	静修小学校	1月17日	11人	視覚障がい者の生活(当事者のお話)・アイマスク体験
		1月23日	12人	認知症サポーター養成講座・高齢者疑似体験
		1月30日	8人	手話体験
	日高小学校	2月14日	72人	手話体験
三方小学校	2月14日	18人	高齢者疑似体験(貸出しのみ)	
出石	弘道小学校	6月3日	38人	車いす体験
	出石中学校	9月28日	75人	車いす・アイマスク体験
	弘道小学校	10月31日	38人	点字体験
	福住小学校 寺坂小学校	11月7日	22人	車いす・アイマスク体験
	福住小学校 寺坂小学校	11月22日	22人	ユニバーサルスポーツ体験(卓球バレー・ボッチャ)
	小野小学校	12月5日	11人	車いす体験
但東	資母小学校	5月10日	11人	福祉・ユニバーサルデザインについて、車いす基本操作
		5月26日	11人	車いす体験
		6月14日	11人	車いすの生活について当事者の話
		6月28日	10人	1学期振り返り、まとめ
		9月27日	11人	五感、コミュニケーション
		10月7日	10人	アイマスク体験(3小学校合同)
		10月11日	11人	点字体験
		10月14日	11人	点字体験(講師へのお礼の手紙)
		10月20日	11人	高齢者体験
		11月4日	11人	聴覚障がい者の生活
		12月9日	10人	2学期のまとめ
		1月19日	9人	資母地区の福祉 グループワーク①
		1月24日	10人	資母地区の福祉 グループワーク②
		1月30日	10人	地域住民へのグループワーク発表
	2月27日	35人	資母地区の福祉 活動実践、年間のまとめ	
	合橋小学校	5月10日	13人	福祉について、車いす基本操作
		6月2日	16人	車いす体験 (トライやるウィーク中学生4名含)
		6月7日	13人	車いすの生活について当事者の話
		6月14日	13人	高齢者・認知症について、高齢者疑似体験
		6月28日	11人	1学期振り返り、まとめ
		9月27日	12人	五感、コミュニケーション
		10月7日	10人	アイマスク体験(3小学校合同)
		10月13日	13人	手話体験
		10月18日	13人	点字体験
11月29日		13人	点字体験(講師へのお礼の手紙)	
12月8日	11人	合橋地区の福祉 グループワーク、年間のまとめ		

高橋小学校	2月9日	15人	合橋地区の福祉 活動実践(コミュニティ活動への協力)
	5月12日	2人	福祉・ボランティアについて、車いす基本操作
	5月20日	2人	車いす体験
	6月10日	2人	車いすの生活について当事者の話
	6月17日	2人	1学期振り返り、フィールドワーク、まとめ
	9月29日	2人	五感、コミュニケーション
	10月7日	2人	アイマスク体験(3小学校合同)
	10月13日	2人	点字体験
	10月24日	2人	点字体験(手紙)
	12月1日	3人	高齢者体験
	12月14日	3人	いこいの杜見学、2学期まとめ
	1月26日	4人	高橋地区の福祉 グループワーク①
	2月2日	3人	高橋地区の福祉 グループワーク②
	2月15日	18人	高橋地区の福祉 活動実践(いこいの杜ゆうゆうくらぶ交流)
	2月21日	3人	年間のまとめ

(2) 福祉委員活動の強化

福祉委員が区長、民生委員、民生・児童協力委員等と連携した見守り・支え合い活動をすすめ、話し合いの場(福祉委員会・見守り会議等)に参加し役割を発揮できるよう、コミュニティワーカーが働きかけと活動のバックアップを行いました。

【福祉委員委嘱数】

(単位:人)

豊岡地域	城崎地域	竹野地域	日高地域	出石地域	但東地域	合計
161	31	41	70	51	52	406

【福祉委員研修会等の開催状況】

地域	開催日	参加者数	内容
豊岡			民生・児童協力委員と合同で動画配信による研修を実施。 資料を作成し、動画 QRコードから視聴可能として実施。 ※民生委員児童委員にも共有しています。
	4月16日	45人	【中筋地区(コミュニティなかすじまごころ部)福祉会議】 参加者:区長、民生委員、民生協力委員、福祉委員、健康推進員 内容:講話「福祉・健康活動の推進に向けて」 意見交換・情報交換 「民生委員担当エリアごとに福祉活動について」
	6月16日	45人	【田鶴野地区福祉連絡会】 参加者:区長、民生委員、民生協力委員、福祉委員、コミュニティたづるの会長・顧問 内容:講話「田鶴野地区の福祉活動の推進に向けて」 専門職員より各々の役割について説明 意見交換・情報交換 「民生委員担当エリアごとに福祉活動について」
	6月25日	50人	【八条地区福祉連絡会】 参加者:区長、民生委員、民生協力委員、福祉委員、八条コミュニ

			<p>ティ会長・福祉部員</p> <p>内 容: 講話「八条地区の福祉活動の推進に向けて」 専門職員より情報提供等 意見交換・情報交換「現状・課題把握、具体的な方法等」</p>
	7月20日	50人	<p>【新田地区 研修会(コミュニティ新田ふくし部会)】</p> <p>参加者: 民生委員、民生協力委員、福祉委員、コミュニティ新田正副会長</p> <p>内 容: 講話「新田地区の福祉の現状について」</p>
	7月23日	50人	<p>【豊岡地区 福祉座談会(とよおかカタツムリの会)】</p> <p>参加者: 区長、民生委員、民生協力委員、福祉委員他、地域活動者、地域活動に興味のある方等</p> <p>内 容: 講話「豊岡地区の福祉について」 意見交換・情報交換「現状、活動工夫等」</p>
	10月19日	30人	<p>【中筋地区(コミュニティなかすじまごころ部)福祉会議】</p> <p>参加者: 区長、民生委員、民生協力委員、福祉委員</p> <p>内 容: 意見交換・情報交換 「民生委員担当エリアごとに福祉活動について」</p>
	10月20日	25人	<p>【奈佐地区 奈佐地区福祉連絡会】</p> <p>参加者: 区長、民生委員、民生協力委員、福祉委員</p> <p>内 容: 講話「地域の現状の把握と奈佐地区の実態の共有」 意見交換・情報交換 「民生委員担当エリアごとに福祉活動について」</p>
	11月9日	30人	<p>【新田地区 研修会(コミュニティ新田ふくし部会)】</p> <p>参加者: 民生委員、民生協力委員、福祉委員、コミュニティ新田正副会長</p> <p>内 容: ワークショップ「課題について、過去の課題点」</p>
	11月17日	40人	<p>【田鶴野地区 田鶴野地区福祉連絡会】</p> <p>参加者: 区長、民生委員、民生協力委員、福祉委員、コミュニティたづるの会長・顧問</p> <p>内 容: 講話「田鶴野地区の福祉活動の推進に向けて」 「地域課題に基づき意見交換・情報交換」</p>
竹野	6月24日	70人	<p>【合同研修会 校区別に分かれZoomにより3会場で開催】</p> <p>参加者: 民生委員児童委員、民生児童協力委員、福祉委員</p> <p>内 容: 「顔の見える関係づくり」 ～民生委員児童委員・民生児童協力委員・福祉委員の役割について～ ○グループワーク 情報交換等</p>

日高	6月24日	17人	<p>【第1回福祉委員研修会】 参加者:八代地区・三方地区・清滝地区・西気地区の今年度新任福祉委員になられた方</p> <p>内 容: (1)福祉委員活動(福祉委員の役割)について ・社会福祉協議会とは ・福祉委員が必要な理由 ・福祉委員にお願いしたいこと ・活動などの紹介</p> <p>(2)グループワーク ・自己紹介・地域でしていること ・福祉委員として ・気になること・困っていること・不安に思うこと</p>
	7月1日	16人	<p>【第2回福祉委員研修会】 参加者:国府地区・日高地区 6月24日と同じ内容で実施</p>
	3月17日	156人	<p>【民生委員・児童委員、民生児童協力委員、福祉委員 合同研修会】 参加者:福祉委員 53人、民生委員・児童委員 35人、民生児童協力委員 60人、その他 8人 合計 156人 開催方法:オンライン会議 内容: ・各委員の連携のための顔合わせ ・各委員の活動・役割について再確認</p>
出石	7月13日	34人	<p>【福祉委員研修会(弘道)】 参加者:福祉委員、区長、民生委員・児童委員 内 容:福祉委員の活動と役割について、情報交換など</p>
	7月20日	33人	<p>【福祉委員研修会(菅谷・福住・寺坂)】 参加者:福祉委員、区長、民生委員・児童委員 内 容:福祉委員の活動と役割について、情報交換など</p>
	7月27日	32人	<p>【福祉委員研修会(小坂・小野)】 参加者:福祉委員、区長、民生委員・児童委員 内 容:福祉委員の活動と役割について、情報交換など</p>
但東	6月10日	36名	<p>【但東福祉委員研修会】 参加者:福祉委員 内 容:説明・研修「福祉委員活動について」～福祉委員の役割～ 協議事項:地区役員を選出、但東福祉委員長の選出</p>
	6月15日	5名	<p>【福祉委員代表者会議】 参加者:地区役員 内 容:令和3年度の活動報告 令和4年度の福祉委員活動について 校区毎の福祉連絡会の時期、内容等の検討</p>

	7月19日	42人	【資母地区福祉連絡会】 参加者: 区長、民生委員、福祉委員、資母まちづくり協議会暮らしづくり部長、資母地区コミュニティセンター地域マネージャー 内 容: 報告「高齢者学級で聞かれたこと」 説明・取組紹介「見守り活動と連携について」 情報交換「地域の様子確認シート」を活用 説明「資母まちづくり協議会の取り組みについて」
	9月21日	34人	【合橋地区福祉連絡会】 参加者: 区長、民生委員、民生協力委員、福祉委員、コミュニティあいはいし会長、コミュニティあいはいし地域マネージャー 内 容: 出前講座「タイムラインで災害時の役割を確認しよう」 説明「日頃の見守りと防災について」
	10月16日	34人	【高橋地区福祉連絡会】 参加者: 区長、民生委員、福祉委員、ささえあい部会員、75歳以上の一人暮らし高齢者 内 容: 出前講座「マイ避難カードをつくって自助力の向上を図る」

(3) 豊岡市地域福祉計画の推進

豊岡市地域福祉計画推進委員会を設置し、計画の実現に向けた取り組みの検討、計画の推進状況の評価について協議を行いました。また、推進部会は、計画の実効性を確保するため、市関係各課や社協等で年度ごとに課題について検討し、体制構築や機能強化を図りました。

【推進委員会の開催状況】

会議名	開催日	内容
地域福祉計画推進委員会	3月24日	豊岡市地域福祉計画の取組状況について

【推進部会の開催状況】

参集範囲	(市) : こども育成課、こども支援センター、コミュニティ政策課、政策調整課、高年介護課、健康増進課、社会福祉課の係長以上の実務者 (社協) : 地域福祉課、在宅福祉課の実務者
開催回数	3回
協議内容	包括的な支援体制の推進に向けた検討(現状課題、解決策)

(4) 総合的な相談支援事業の推進

総合相談センター（総合相談・生活支援センター、障害者相談支援事業所、各地域包括支援センター）を中心に、高齢者、障がい者、生活困窮、制度の狭間にある住民や複合的な課題のある世帯等への支援に向けて、地域住民、関係機関・団体等と連携・協働し取り組みました。

① 総合相談・生活支援センター業務（市委託事業）

生活に困窮し、生きづらさを抱えた相談者の話を丁寧に聴き、気持ちに寄り添い、意欲の向上や自信を取り戻す支援を市・関係機関・地域住民・企業等と連携しながら、「経済的自立」「日常生活自立」「社会生活自立」に向けて取り組みました。また、制度の狭間や

社会的孤立、複合的な課題を抱える世帯に対し、社協・市の庁内連携体制による横断的な支援体制づくりに取り組みました。

新型コロナウイルス特例貸付総合支援資金が令和4年9月30日に終了となったこともあり、前年度の新規相談件数に比べ約5割減少しています。相談の傾向としては、多重債務や税滞納など家計管理に課題があった方の相談が多いのに加え、貸付の返済困難な方の相談が多くみられました。

【新規相談受付件数】 (単位:件)

令和3年度	令和4年度
233	116

【自立支援プラン作成件数】 (単位:件)

令和3年度	令和4年度
21	24

【相談件数】 (重複あり)

(単位:件)

	病気障害	住まい	収入生活費	家賃ローン支払	税金公共料金支払	債務	仕事探し就職	仕事上の不安、トラブル
R3	61	22	218	65	55	28	51	22
R4	51	15	97	37	34	26	42	12
	地域との関係	家族関係人間関係	子育て介護	ひきこもり、不登校	DV虐待	食べるものが無い	その他	合計
R3	7	24	25	4	0	43	7	632
R4	1	16	15	4	2	23	10	385

② 地域包括支援センター業務 (市委託事業)

重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを推進する中核的機関として、高齢者の総合相談支援、権利擁護支援、ケアマネジャーへの支援、介護予防ケアマネジメント、地域ケア会議の推進、認知症予防・支援の推進、生活支援体制整備の推進をしました。

【相談件数】 (重複あり)

(単位:件)

事業所	年度	介護相談	総合事業	介護予防	介護給付	入退所・院	高齢者福祉	障がい者福祉	保健・医療	権利擁護	認知症に関する事	経済	その他	合計
豊岡	R3	1,924	2,819	4,758	539	442	5,038	245	1,248	678	556	201	474	18,922
	R4	3,775	3,154	4,259	668	384	7,748	137	1,270	812	432	188	339	23,166
城崎・竹野	R3	782	1,181	1,662	98	177	2,147	73	549	45	146	75	223	7,158
	R4	719	1,133	1,582	104	98	1,965	30	469	26	87	64	333	6,610
日高	R3	309	1,848	3,384	382	294	1,310	107	428	450	115	50	83	8,760

	R4	289	1,558	3,432	750	290	1,738	122	398	327	156	66	142	9,268
出石・但東	R3	339	1,791	2,265	88	334	2,031	54	250	179	122	59	113	7,625
	R4	228	1,336	2,665	252	322	2,166	49	97	121	93	44	47	7,420
合計	R3	3,354	7,639	12,069	1,107	1,247	10,526	479	2,475	1,352	939	385	893	42,465
	R4	5,011	7,181	11,938	1,774	1,094	13,617	338	2,234	1,286	768	362	861	46,464

【虐待対応件数】

(単位:件)

	年度	前年度からの継続	通報 (内虐待認定)	虐待件数	終結	対応継続
豊岡	R3	6	16(6)	12	5	7
	R4	7	17(2)	9	4	5
城崎・竹野	R3	3	2(2)	5	2	3
	R4	3	1(1)	4	2	2
日高	R3	2	16(10)	12	9	3
	R4	3	7(2)	5	4	1
出石・但東	R3	3	8(4)	7	5	2
	R4	2	5(1)	3	2	1
合計	R3	14	42(22)	36	21	15
	R4	15	30(6)	21	12	9

【ケアマネジャーへの支援回数】

(単位:回)

	年度	ケース 検討会議	同行訪問	個別相談 情報提供	サービス 担当者会議	合計
豊岡	R3	23	270	1,531	34	1,858
	R4	17	180	1,246	24	1,467
城崎・竹野	R3	7	111	329	18	465
	R4	5	88	350	17	460
日高	R3	9	54	400	18	481
	R4	9	69	472	17	567
出石・但東	R3	5	81	131	12	229
	R4	7	74	141	25	247
合計	R3	44	516	2,391	82	3,033
	R4	38	411	2,209	83	2,741

【ケアプラン作成件数】

(単位:件)

	豊岡	城崎・竹野	日高	出石・但東	合計
令和3年度	7,255	2,900	3,681	3,111	16,947
令和4年度	7,545	2,777	3,460	3,206	16,988

※予防給付・総合事業・支え合い・からだ元気塾・委託件数含む

【認知症初期集中支援対応件数】

(単位：件)

	前年度からの継続	新規	終了
令和3年度	8	9	8
令和4年度	9	5	10

③ 障害者相談支援事業所業務

ア. 一般的な相談(市委託事業)

障がいのある人の福祉に関する様々な問題について、当事者等からの相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な援助を行いました。また、こうした相談支援事業を効果的に実施するために、自立支援協議会へ参加し、中立・公平な相談支援事業の実施や地域の関係機関との連携強化、社会資源の開発・改善に向けて関係各機関との協議を重ねてきました。

イ. 障害福祉サービス等の利用計画の作成(計画相談支援・障害児相談支援)

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障がい者(児)の自立した生活を支え、障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援してきました。

ウ. 地域生活への移行に向けた支援(地域移行支援・地域定着支援)

入所施設や精神科病院等からの退所・退院にあたって支援を要する者に対し、入所施設や精神科病院等における地域移行の取り組みと連携しつつ、地域移行のための支援を行ったり、家族との同居から一人暮らしへ移行した者、地域生活が不安定な者等に対し、地域生活を継続・定着していくための支援を行ってきました。

【一般相談支援実人数】 (単位：人)

令和3年度	令和4年度
180	108

【一般相談件数】 (重複あり)

(単位：件)

	制度利用	障害・病状の理解	健康医療	不安解消	保育教育	家族・人間関係	家計経済	生活技術	就労	社会参加	権利擁護	その他	合計
R3	843	96	164	161	24	81	96	75	149	13	34	124	1,860
R4	586	152	121	267	7	36	59	15	57	14	32	199	1,545

【計画相談支援実人数】

(単位：人)

	令和3年度	令和4年度
障がい者	198	207
障がい児	34	34
合計	232	241

【計画相談件数】（重複あり）

（単位：件）

	制度 利用	障害・ 病状の 理解	健康 医療	不安 解消	保育 教育	家族・ 人間 関係	家計 経済	生活 技術	就労	社会 参加	権利 擁護	その 他	合計
R3	3,727	79	192	210	89	39	56	47	127	19	14	43	4,642
R4	4,327	235	155	229	30	31	75	54	100	21	48	189	5,494

（５）社協セーフティネット機能の充実・強化

社協としての生活困窮世帯へのセーフティネット機能を果たせるよう、生活福祉資金及び法外援護資金の貸付相談事業を通じて困窮世帯の困りごとを受け止め、課題解決に向けて、総合相談センター各部署（総合相談・生活支援センター、障害者相談支援事業所、地域包括支援センター）や市関係課等へつなぎ、連携して解決に取り組みました。

① 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）

低所得世帯や高齢者世帯、障がい者世帯などで生活に一時的に困窮している世帯に対し、必要な費用の一部を貸し付けるとともに、民生委員や社会福祉協議会による相談支援を行うことによって、社会参加の促進を図ることを目的に実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による休業等で収入減少のあった世帯や、失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に対する緊急かつ一時的な生活資金等の貸付の相談受付を9月末まで実施しました。

【貸付状況】

資金種類	令和3年度		令和4年度	
	件数	貸付金額	件数	貸付金額
福祉資金	0件	0円	2件	1,156,000円
教育支援資金	1件	379,600円	2件	2,650,000円
総合支援資金	0件	0円	0件	0円
緊急小口資金	0件	0円	3件	300,000円
臨時特例つなぎ資金	0件	0円	0件	0円
緊急小口資金 （新型コロナウイルス特例貸付）	134件	23,500,000円	16件	3,050,000円
総合支援資金 （新型コロナウイルス特例貸付）	122件	66,900,000円	12件	6,000,000円

【相談件数】

（単位：件）

資金種類	令和3年度	令和4年度
従来の生活福祉資金貸付(延件数)	165	191
新型コロナウイルス特例貸付(実件数)	605	46

② 法外援護資金貸付事業

失業や病気等様々な理由で困窮し、緊急的に資金が必要な者に対し、法外援護資金の貸付により、生活をつなぎ自立に向けた支援を行うことを目的に実施しました。

電気等のライフライン停止や受診代等の緊急的な資金が必要な世帯に対しては、緊急少額資金により迅速な貸付対応を行いました。

【貸付状況】

資金種類	令和3年度		令和4年度	
	件数	貸付金額	件数	貸付金額
法外援護資金	1件	50,000円	1件	50,000円
緊急少額資金	3件	34,739円	10件	101,542円

③ 日常生活自立支援事業（県社協委託事業）

高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの判断能力に不安のある方に対して、福祉サービスの利用支援や日常的な金銭管理を通じて、地域において自立した生活が送れるよう支援を行いました。

【契約件数】（単位：件）

令和3年度	令和4年度
78	76

【問い合わせ・相談件数】（単位：件）

	令和3年度	令和4年度
福祉サービス利用援助事業に関して	4,051	3,867
成年後見制度に関して	52	8
その他	1,795	1,111
合計	5,898	4,986

④ 緊急食料支援事業

生活に困窮し食料の確保が難しい世帯へ食料を提供し、生活困窮者自立相談支援（総合相談・生活支援センター）による相談支援を行い世帯の自立に向けて取り組みました。

【支援・寄付受付状況】（単位：件）

	令和3年度	令和4年度
食料寄付	97	116
食料支援	60	58

【ニーズキャッチ機関】（単位：件）

機関・部署	令和3年度	令和4年度
市社会福祉課	19	24
市健康増進課	4	1
市振興局	0	3
こども支援センター	2	2
社協本所	6	1
社協支所	5	3
障害者基幹相談支援センター	1	0
民生委員	1	0
ハローワーク	0	0
地域住民	0	1

地域包括支援センター	0	1
障害者相談支援事業所	0	3
総合相談・生活支援センター	22	19
合 計	60	58

⑤ 新型コロナウイルス感染症自宅待機（自宅療養）者生活支援事業（市委託事業）

新型コロナウイルス感染症のため自宅待機等で外出ができない家庭への生活支援として、希望する家庭に自宅待機などの期間中に必要な日用品等を配達しました。

【配達件数】

（単位：件）

支 援 内 容	利 用 料 金	令和3年度	令和4年度
感染対策セット(市が指定する物品)	自己負担なし(市負担)	115	152
食糧支援セット(市が指定する食品)	自己負担なし(市負担)	58	140
特定の日用品	商品代金自己負担	1	3

※令和3年2月22日より開始

（6）各種相談活動の推進

市民の生活・福祉課題を発見し、様々な生活援助や地域福祉活動につなげるため、小地域福祉活動と連携した身近な相談窓口と専門職との連携を図りました。

① 法律相談

弁護士が市民の財産・家族間等の問題について法的な手続きを含めた確かな助言を行い、市民の財産・権利の維持・継続を支援することを目的として実施しました。

開設日…毎月第1火曜日

【相談件数】

（単位：件）

令和3年度	令和4年度
90	91

② 心配ごと相談

市民が抱える家族・介護・生計など生活上の様々な心配ごとについて職員が相談に応じ、解決のための助言を行い、誰もが安心して自分らしい生活が送れるようにすることを目的に実施しました。

【相談件数】

（単位：件）

	豊 岡	城 崎	竹 野	日 高	出 石	但 東	合 計
令和3年度	20	6	2	7	2	4	41
令和4年度	21	5	4	11	6	7	54

③ 結婚相談

結婚を望んでいるが、出会いの機会が少ない等の理由により結婚に至らない方へ、結婚相談員が相談・助言や紹介を行いました。また、豊岡市内だけにこだわらず但馬全域の登録者の中で相談員による情報交換を行い、よい出会いの提供に取り組みました。

令和4年度から2カ所の相談所を豊岡1カ所に統合し、相談員同士の情報交換の活発化を図り、

成婚増加に向けた体制を整えました。

また、新たに土曜日の相談日を開設し、登録者及び新規相談者が相談しやすい環境を整えました。

【実施状況】

(単位:件)

	地域	相談件数	紹介	見合い	成婚	成婚の内、相談員が関わった件数(再掲)
令和3年度	豊岡	8	221	81	8	1
	日高	8	200	70	4	2
	合計	16	421	151	12	3
令和4年度		68	537	199	3	2

※結婚相談所開設日…第1・3土曜日、第2・4水曜日

【結婚相談所登録者数】

(単位:人)

	地域	全但登録者数			未登録者 (相談員が釣書を預かっている方)		
		男	女	計	男	女	計
令和3年度	豊岡	66	38	104	9	7	16
	日高	45	29	74	11	10	21
	合計	111	67	178	20	17	37
令和4年度		49	38	87	21	17	38

4. 地域における利用者本位の福祉サービスの実現

地域において、利用者がその人らしく豊かに生活が送れるように、単に決められた介護サービスの供給だけでなく、既存のサービスの枠を超えて、個々のニーズを拾い上げ、的確に柔軟に対応し、例え終末期ケアが必要な状態になっても「在宅生活を守りきる」体制づくりを進めました。

(1) 在宅生活を守りきる介護サービスの実施

① 居宅介護支援事業

在宅の要介護・要支援者が介護サービス等を適切に利用できるよう、利用者の依頼を受けて、その心身の状況、生活環境、利用者及びその家族の希望を勘案し、居宅サービス事業所や関係機関と連携・調整を図りました。

【延利用者数】 (単位:人)

	令和3年度	令和4年度	比較
豊岡	1,831	1,554	△277
豊岡北	1,412	1,507	95
日高	1,938	1,648	△290
出石・但東	2,436	2,384	△52
合計	7,617	7,093	△524

② 訪問介護事業

訪問介護員が要介護・要支援状態にある利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事などの介護や、掃除、洗濯、調理などの生活援助、また通院介助を行いました。

【延利用者数】 (単位:人)

	令和3年度	令和4年度	比較
豊岡	9,772	8,864	△908
竹野	9,720	9,536	△184
日高	16,859	16,110	△749
出石	20,005	17,337	△2,668
合計	56,356	51,847	△4,509

③ 訪問入浴介護事業

看護職員1名と介護職員2名が利用者宅を訪問し、組み立て式浴槽にて入浴、洗髪などのサービスを提供しました。入浴前後には、看護職員が健康チェックを行いました。

【延利用者数】 (単位:人)

令和3年度			令和4年度			比較		
介護	障がい	合計	介護	障がい	合計	介護	障がい	合計
1,467	374	1,841	1,569	325	1,894	102	△49	53

④ 通所介護事業

要介護・要支援状態にある利用者へ健康チェック、入浴、レクリエーションなどを通じて心身の機能の維持や交流の場を提供しました。また、家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

【延利用者数】

(単位:人)

	令和3年度			令和4年度			比 較		
	介護	障害	合計	介護	障害	合計	介護	障害	合計
豊岡港	4,502	0	4,502	3,942	0	3,942	△560	0	△560
豊岡西	4,446	204	4,650	3,903	167	4,070	△543	△37	△580
竹野	6,385	55	6,440	5,605	61	5,666	△780	6	△774
竹野南	2,316	0	2,316	2,162	0	2,162	△154	0	△154
日高西	6,871	8	6,879	6,694	15	6,709	△177	7	△170
日高東	6,585	54	6,639	6,333	51	6,384	△252	△3	△255
但東	6,028	0	6,028	6,214	0	6,214	186	0	186
合計	37,133	321	37,454	34,853	294	35,147	△2,280	△27	△2,307

⑤ 地域福祉生活支援拠点ぐるらん（小規模多機能型居宅介護事業）

日中の通い、夜間の泊り、24時間対応の訪問を組み合わせて、一人ひとりのニーズ・生活に合わせたオーダーメイドの支援に取り組みました。

【利用状況】

	令和3年度	令和4年度	比 較
実登録者数	34人	30人	△4人
月平均	20人	20人	0人
訪 問	3,310回	3,475回	165回
通 所	3,018回	2,602回	△416回
宿 泊	333回	337回	4回

(2) 障害福祉サービス事業の推進

① 障害者サービス事業

訪問介護員が身体に障がい、知的障がい、精神障がいがある利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事介助などの身体介護や、掃除、洗濯、調理などの家事援助や外出の支援、移動介助を提供しました。

【居宅介護 延利用者数】

(単位:人)

	令和3年度	令和4年度	比 較
豊 岡	2,114	2,807	693
竹 野	1,429	1,279	△150
日 高	1,302	1,090	△212
出 石	2,119	2,046	△73
合 計	6,964	7,222	258

【同行援護 延利用者数】

(単位:人)

	令和3年度	令和4年度	比較
豊岡	36	49	13
竹野	115	201	86
日高	72	84	12
出石	178	228	50
合計	401	562	161

【移動支援 延利用者数】

(単位:人)

	令和3年度	令和4年度	比較
豊岡	60	59	△1
竹野	55	49	△6
日高	16	14	△2
出石	21	14	△7
合計	152	136	△16

(3) 在宅福祉サービスの充実**① 産前・産後サポーター派遣事業 (市委託事業)**

妊娠、出産及び子育てに関する悩みや不安を抱える方や、家族等から産後の支援を受けられない方に、家事援助及び相談を行い、身体の負担の軽減と心身の安定を図り、安心して子育てができるように援助を行いました。

【延利用者数】

(単位:人)

	令和3年度	令和4年度	比較
豊岡	500	231	△269
竹野	0	49	49
日高	87	31	△56
出石	99	35	△64
合計	686	346	△340

② 福祉用具貸与事業

高齢や障がいなどにより日常生活に支障を伴う方に福祉用具を一時的に貸し出すことにより、自立した在宅生活が継続できることを目的に実施しました。

【貸出件数】 ※品目…車いす、電動ベッド、松葉杖、歩行補助杖、歩行器等 (単位:件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
令和3年度	96	14	31	90	64	34	329
令和4年度	178	12	23	73	63	30	379

③ 生きがい活動支援通所事業 (市委託事業)

要介護認定を受けていない高齢者で家に閉じこもりがちの方に対し、体操やレクリエーション等を行うことで社会的孤立の解消や介護予防を図ることを目的に実施しました。

【実施状況】

	年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	合計
開催回数	R3	7回	12回	24回	11回	96回	150回
	R4	0回	11回	23回	7回	108回	149回
延利用者数	R3	9人	187人	223人	14人	822人	1,255人
	R4	0人	112人	224人	7人	805人	1,148人

④ 給食サービス事業（食の自立支援事業）（市委託事業）

ひとり暮らしや高齢者世帯で心身に支障があり調理が困難な方に、ボランティアの協力を得ながら栄養バランスの取れた食事を届けることにより、栄養改善を図るとともに配食を通じた見守りを行い、健康で自立した生活が維持できることを目的に実施しました。

【実施状況】

	年度	竹野	但東	合計
実施日数	R3	143日	144日	287日
	R4	147日	147日	294日
延利用者数	R3	2,785人	3,135人	5,920人
	R4	2,799人	4,150人	6,949人

⑤ 家族介護支援事業（市委託事業）

高齢者を在宅で介護している家族等に、介護方法や介護予防、介護者の健康づくりなどについての知識・技術を習得する機会の提供や、介護者相互の交流を通じて介護者のリフレッシュを図ることを目的に実施しました。

【実施状況】

	年度	城崎	竹野	出石	但東	合計
開催回数	R3	5回	5回	3回	3回	16回
	R4	5回	11回	6回	6回	28回
延参加者数	R3	42人	70人	14人	16人	142人
	R4	51人	48人	11人	15人	125人

5. 様々な地域課題に対応する人材育成と確保

豊岡市社協が地域福祉活動を推進する組織として、職員の資質・スキルアップ向上を図るために、役職・等級等に応じた内部・外部研修により職員の資質向上を図りました。

(1) 計画的な研修体系の構築・実践、業務内容への反映

職員の資質や能力の向上を目的に、職種・役職に基づいた組織内部・外部研修を体系的に実施しており、研修内容が各職員の所属部署・事業所内で共有され、業務内容に反映されるよう研修内容の報告の徹底を図りました。

【職員内部研修実施状況】

研修名	講師	対象者	参加者数
新任職員研修	事務局長 地域福祉課長 企画総務課長 企画総務課課長補佐	新任の正規職員、 嘱託職員	7名
VR 認知症体験研修	株式会社シルバーウッド	介護職員	35名
役割認識研修	各職場の担当者	入職2年目の職員	8名
メンタルヘルスセルフケア研修	ひょうご仕事と生活センター 外部相談員 杉本 登志子 氏	一般職0～1等級 ほか 希望者（正規、嘱託、非常勤、非常勤ヘルパー）	19名
チーム力向上研修	ひょうご仕事と生活センター 外部相談員 小倉 譲 氏	主任、指導者、監督署、管理職	33名
救急救命法研修	豊岡消防署 日高分署 救急救命士	0～1等級他、希望者（正規、嘱託、非常勤、非常勤ヘルパー）	18名
会計実務担当者研修	企画総務課主任	会計業務担当者 ほか、希望者	9名
整理収納研修	ひょうご仕事と生活センター 外部相談員 笹田 奈美子 氏	希望者（正規、嘱託、非常勤、非常勤ヘルパー）	14名
コンプライアンス研修	介護労働安定センター兵庫 講師 岡本 圭左 氏	介護職員（デイサービスセンター・ぐるらん）非常勤職員（希望者）	19名
高齢者虐待防止・身体拘束禁止研修	エボルブナーシングケア株式会社 代表取締役 三輪 五月 氏	介護職員、介護支援専門員、障害者相談支援専門員	17名
プレゼンテーション研修	株式会社マネジメントサポート 上田 由佳子氏	中堅、指導職、監督職、管理職、希望者	10名

(2) 働きやすい職場環境づくりの整備

職員の意見を積極的に取り入れ、職員が熱意と柔軟な発想を持って業務に取り組めるよう、また風通しが良く働きやすい職場環境の整備に取り組みました。

主な取り組み内容

- 定時退社の取り組みを実施
- 外部カウンセリングの導入

(3) 人材確保計画の推進

介護職員採用試験の見直しについては、日高高校指定校求人新たな取り組みとして実施しました。また、職員が新たな人材を紹介し、入職、定着すれば報奨を支払う職員紹介制度を導入しました。

今年度は正規職員採用試験の1次募集で計画した職員数を確保できなかったため、2次募集を実施した効果もあり、1次・2次募集を合わせて職員10名の新規採用に至りました。

6. 社協活動の見える化・透明性の確保

地域福祉活動を推進していくために、様々な場面・媒体等を通じて豊岡市社協が目ざす姿・方向性の発信機能を強化し、住民・NPO・企業・関係機関等の豊岡市社協に対する理解を図り、協力者を増やすことに取り組みました。

(1) 広報活動の促進

広報紙、ホームページ、YouTube、SNS等の媒体を通じて社協活動や地域の見守り、支え合い活動等の情報を発信しました。

① 広報紙「NIKO」

毎月市内全世帯に発行する広報紙「NIKO」の紙面の充実を図り、地域の福祉活動、まちづくり、ボランティアに関する情報など、市民が必要とする情報を掲載しました。

全国の市町村社協の広報紙75紙がエントリーした「全国社協広報紙コンクール2022」にて、「NIKO」第195号（令和4年6月25日発行）が実行委員会特別賞を受賞しました。

主な発信内容

- 災害ボランティアセンター合同研修会
- 地域福祉活動者の対談
- 福祉専門職の業務内容、認知症カフェの紹介
- ふれあいいきいきサロン、地域応援事業等の社協助成事業
- 善意銀行への寄付・活用状況、緊急食料支援事業への寄付状況
- 全国各地で発生した大雨・豪雨災害への義援金募集
- 事業計画、予算、事業報告、決算

② YouTube「とよおか社協ちゃんねる」

「とよおか社協ちゃんねる」を随時アップし、地域住民、障がい者団体、企業等の地域

活動の様子、インタビュー等を発信しました。

主な発信内容

- ▶ 全但バス（株）の車いすやシルバーカーを使用してのバスの乗り方、乗り降りの際の運転士のサポート
- ▶ コープこうべ、障がい者団体、本会の協働による買物困難者への「見守り個配サービス」
- ▶ 本会の「福祉車両貸出事業」を利用した山宮区買い物支援活動「い car で」
- ▶ いきいきサロンの活動者による「With コロナの地域活動」をテーマとした対談

（２）市民参画による地域福祉財源の活用の検討

令和4年3月に開設した福祉ポータルサイト「とよニコ」では、主に介護する世代、子育て世代、若者等をターゲットに福祉へ関心をもつ人を広げ福祉課題の解決の糸口とすることを目的に、9人の市民ライターが地域の福祉活動・居場所、福祉活動者等を住民目線で取材した記事を発信しました。また、市民ライターと専門職が気軽に交流する場として「ゆるニコ」を6回開催し、お互いの理解を深めることにつながっています。

○記事発信件数…59件

【善意銀行寄付受付状況】

	令和3年度	令和4年度	比較
寄付件数	201件	186件	△15
金額	8,777,968円	7,774,751円	△1,023,217

【活用状況】

事業	内容	件数
子どもの事故防止事業 (新入学児童ランドセルカバー贈呈)	市内小学校の新入学児童全員へ交通事故防止の安全対策として、黄色のランドセルカバーを贈呈 コープ共済と共同実施	606
除雪お手伝い事業助成	自力で除雪が困難な独居高齢者等に対し、玄関等家の周りの除雪や屋根からおろした雪の除雪に係る費用の一部を助成	12
火事見舞金	火災により住宅を全焼又は半焼(水損を含む)した世帯へ30,000円の見舞金を支給	10
新入学児童・生徒制服購入事業	新入学児童・生徒のいる要保護世帯に対して、制服やランドセル購入等、新入学準備お祝い金を民生委員・児童委員を通じてお届け 小学校入学 1名につき 15,000円 中学校入学 1名につき 20,000円	8
地域活動支援センター運営助成	地域活動支援センターが事業に使用する車両、備品購入費の一部を助成し、安定的な運営を支援	7

但馬地区里親会へ助成 (事務局 豊岡こども 家庭センター)	但馬地区里親会の活動支援として賛助金を助成	1
青少年非行防止事業 (事務局 豊岡保護区 保護司会)	コミュニティセンター、健康福祉センター等の公共施設へ掲示 する啓発活動のための標語パネル費用の一部補助	1
地域住民交流拠点 づくり活動助成	空き店舗、空き家などを活用し、多様な住民（子ども、 子育て世代、働く世代、障がいを抱える方など）が集う 毎日型の「住民交流拠点」の設置や運営に係る経費を助 成	5
子どもの夢応援事業	経済的な理由で、文化およびスポーツに係る臨時的な支 出が難しい豊岡市内の小・中学生の保護者を対象に、学 校生活で必要になる物品の購入費用や、大会等の参加費 を給付	6
豊岡市福祉情報サイト 「とよニコ」運営事業	市内の福祉活動・人材、善意銀行等の情報について、市 民ライターが記事を作成	-

(3) 継続寄付者等への感謝状贈呈

今年度初めて、継続寄付者等へ感謝状を贈呈しました。本会或いは善意銀行への長年にわたる継続的な寄付や、豊岡健康福祉センターでの生け花展示をしていただいた個人・企業へ、感謝の意を表し労をねぎらいました。

個人…4名 企業…2社

7. 法人運営

(1) 理事会

回数	開催日	出席役員数	協議事項
1	4月28日	理事12名 監事2名	報告事項13件 第1号議案 経理規程の一部改正について 第2号議案 豊岡ケアプランセンター運営規程(指定特定相談支援事業)の一部改正について 第3号議案 豊岡北ケアプランセンター運営規程(指定特定相談支援事業)等の一部改正について 第4号議案 豊岡ヘルパーステーション運営規程(障害者総合支援事業)等の一部改正について 第5号議案 豊岡市障害者相談支援事業所(特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所)運営規程の一部改正について 第6号議案 豊岡市障害者相談支援事業所(一般相談支援事業所)運営規程の一部改正について 第7号議案 豊岡ケアプランセンター運営規程等の一部改正について 第8号議案 豊岡ヘルパーステーション運営規程等の一部改正について 第9号議案 日高東デイサービスセンター運営規程の一部改正について
2	6月1日	理事11名 監事2名	報告事項3件 第10号議案 令和3年度豊岡市社会福祉協議会事業報告について 第11号議案 令和3年度豊岡市社会福祉協議会決算について 監査報告 第12号議案 評議員の退任について 第13号議案 評議員の推薦について 第14号議案 豊岡市社会福祉協議会正規職員6月賞与について 第15号議案 豊岡市社会福祉協議会嘱託職員6月一時金について 第16号議案 豊岡市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について 第17号議案 豊岡市社会福祉協議会嘱託職員給与規程の一部改正について 第18号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤職員就業規則の一部改正について 第19号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤ヘルパー就業規則の一部改正について
3	7月28日	理事12名 監事1名	報告事項6件 第20号議案 令和4年度共同募金(令和5年度事業費)「地域目標額」の設定に係る豊岡市社会福祉協議会充当計画について
4	8月18日	理事12名 監事2名	報告事項2件 第21号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤ヘルパー就業規則の一部改正について 第22号議案 豊岡市社会福祉協議会豊岡西デイサービスセンター運営規程等の一部改正について
5	9月22日	理事13名 監事2名	報告事項3件 第23号議案 豊岡市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について

6	10月25日	理事12名 監事2名	報告事項4件 第24号議案 豊岡市社会福祉協議会中長期経営計画中間見直し案について 第25号議案 介護保険事業積立金の取り崩しについて 第26号議案 豊岡西デイサービスセンター運営規定等を廃止する規程について 第27号議案 豊岡西デイサービスセンター廃止に関する申出書について 第28号議案 豊岡市社会福祉協議会に対する人件費補助の増額について
7	11月24日	理事12名 監事2名	報告事項8件 第29号議案 第2次豊岡市社会福祉協議会基盤強化計画の中間見直し案について 第30号議案 正規職員の12月賞与について 第31号議案 嘱託職員の12月一時金について 第32号議案 令和4年度歳末たすけあい運動配分について 第33号議案 介護保険事業積立金の取り崩しについて 第34号議案 豊岡ケアプランセンター運営規程等を廃止する規程について
8	12月14日	理事11名 監事2名	報告事項3件 第35号議案 評議員の退任について 第36号議案 評議員の推薦について 第37号議案 令和4年度第2回豊岡市社会福祉協議会評議員会の開催について 第38号議案 豊岡市社会福祉協議会の基本財産(豊岡西デイサービスセンター)の処分について 第39号議案 豊岡市社会福祉協議会豊岡港デイサービスセンター運営規定等の一部改正について 第40号議案 豊岡市社会福祉協議会竹野デイサービスセンター運営規定等の一部改正について 第41号議案 豊岡市社会福祉協議会日高西デイサービスセンター運営規定等の一部改正について 第42号議案 豊岡市社会福祉協議会但東デイサービスセンター運営規定等の一部改正について 第43号議案 豊岡市社会福祉協議会豊岡港デイサービスセンター運営規定等の一部改正について 第44号議案 豊岡市社会福祉協議会地域福祉・生活支援拠点ぐるらん運営規程の一部改正について 第45号議案 豊岡市社会福祉協議会豊岡ヘルパーステーション運営規程等の一部改正について
9	1月27日	理事11名 監事2名	報告事項4件 第46号議案 豊岡市社会福祉協議会福祉車両貸出事業に関する規程の制定について 第47号議案 評議員の退任について 第48号議案 評議員の推薦について
10	3月7日	理事11名 監事1名	報告事項8件 第49号議案 定款の一部改正について 第50号議案 ふれあいいいきサロン助成規程の一部改正について 第51号議案 豊岡市社会福祉協議会訪問入浴事業所運営規程の一部改正について 第52号議案 豊岡市社会福祉協議会豊岡市障害者相談支援事業所(一般相談支援事業所)運営規程の一部改正について

			第 53 号議案 豊岡市社会福祉協議会豊岡市障害者相談支援事業所(特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所)運営規程の一部改正について 第 54 号議案 令和4年度豊岡市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算案について 第 55 号議案 令和5年度豊岡市社会福祉協議会事業計画案について 第 56 号議案 令和5年度豊岡市社会福祉協議会資金収支予算案について 第 57 号議案 役員等賠償責任保険契約について 第 58 号議案 令和4年度第3回豊岡市社会福祉協議会評議員会の開催について
--	--	--	---

【豊岡市に対する申出書・要望書の提出】

- ・豊岡西デイサービスセンター廃止に関する申出書（令和4年 10 月 26 日付）
- ・豊岡市社会福祉協議会に対する人件費補助の増額(要望)（令和4年 10 月 26 日付）

【豊岡市からの回答】

- ・豊岡市社会福祉協議会に対する人件費補助の増額要望に係る回答(令和5年2月9日付)

(2) 評議員会

回数	開催日	出席 評議員数	協議事項
1	6月17日	13名	第1号議案 令和3年度豊岡市社会福祉協議会事業報告について 第2号議案 令和3年度豊岡市社会福祉協議会決算について 監査報告 第3号議案 理事の選任について
2	12月22日	18名	第4号議案 第2次豊岡市社会福祉協議会基盤強化計画の中間見直し(案)について 第5号議案 豊岡市社会福祉協議会中長期経営計画の中間見直し(案)について 第6号議案 豊岡市社会福祉協議会の基本財産(豊岡西デイサービスセンター)の処分について
3	3月15日	16名	第7号議案 定款の一部改正について 第8号議案 令和4年度豊岡市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算案について 第9号議案 令和5年度豊岡市社会福祉協議会事業計画案について 第10号議案 令和5年度豊岡市社会福祉協議会資金収支予算案について

(3) 正副理事長会議

開催回数…10回

(4) 部会・委員会

地域福祉活動を推進する中核的な組織として、社会情勢の変化に迅速に対応できる組織づくりに向けて、各部会・委員会を中心にマネジメント機能の強化、住民参画による組織運営に取り組みました。

部会・委員会	開催日	協議事項
経営戦略部会	4月12日	福祉団体活動助成事業について 人材確保計画(案)について
	5月31日	令和3年度事業報告について 令和3年度決算について 竹野南デイサービスセンターの経営状況について
	9月5日	中長期経営計画の中間評価について 豊岡西デイサービスセンターの方向性について
	10月11日	豊岡西デイサービスセンター廃止等に係る今後の方向性、スケジュールについて 中長期経営計画の修正について
	3月2日	令和4年度第1次資金収支補正予算案について 令和5年度事業計画案について 役員等の費用弁償について 令和5年度資金収支予算案について
地域福祉部会	9月9日	地域福祉における現状と課題、今後の方向性について
	2月3日	多様化する地域課題への対応
在宅福祉部会	8月31日	豊岡西デイサービスセンターの方向性について 豊岡西デイサービスセンターに併設する事業所について デイサービスにおける営業日の見直しについて
	9月30日	豊岡西デイサービスセンター廃止等に関する今後について 豊岡西デイサービスセンター廃止等に関するスケジュールについて
	3月28日	令和5年度在宅福祉課取り組みの方向性について
善意銀行運営委員会	3月10日	令和4年度善意銀行預託状況、活用内容について 令和5年度善意銀行運営事業計画(案)、予算(案)について

(5) 監査会

回数	開催日	内容
1	5月25日	令和3年度豊岡市社会福祉協議会事業報告・決算 令和3年度豊岡市共同募金委員会事業報告・決算
2	11月15日	令和4年度豊岡市社会福祉協議会上半期事業報告・経営状況報告

(6) 評議員選任・解任委員会

回数	開催日	協議事項
1	6月13日 (書面決議)	第8期豊岡市社会福祉協議会評議員の選任について
2	12月20日 (書面決議)	第8期豊岡市社会福祉協議会評議員の選任について
3	2月15日 (書面決議)	第8期豊岡市社会福祉協議会評議員の選任について

(7) 苦情受付

苦情受付件数 8件

【苦情申出人の属性区分】 (単位:件)

サービス利用者家族	3
一般住民	1
ケアマネジャー(他法人)	2
団体	2

【苦情の事業区分】 (単位:件)

法人運営	1
ヘルパーステーション	1
デイサービスセンター	3
小規模多機能型居宅介護	1
地域包括支援センター	2

【苦情の内容区分】 (単位:件)

内容	受付	終結
サービス・ケアの内容に関すること	3	3
職員の態度・対応に関すること	2	2
運転・駐車方法に関すること	2	2
書面内容	1	1

【第三者委員会】

令和5年3月29日開催

第三者委員 2名出席

(8) 社協会費

【一般会費】 (一世帯あたり年額 1,200円)

	世帯数	会費納入額	納入世帯数	前年度対比
令和3年度	31,815 世帯	28,591,500 円	23,834 世帯	13,860 円
令和4年度	31,926 世帯	28,465,740 円	23,717 世帯	△125,760 円

【賛助・施設会費】 (年額 2,000円以上)

	賛助会費		施設会費		一般会費との 合計金額	前年度対比
	件数	金額	件数	金額		
令和3年度	372	1,673,000 円	26	80,000 円	30,344,500 円	△42,940 円
令和4年度	362	1,610,000 円	26	83,000 円	30,158,740 円	△185,760 円

(9) その他の事業

① 最高齢夫婦祝福事業

豊岡市内の最高齢者・最高齢夫婦に9月の高齢者保健福祉月間に祝金（各1万円）を贈呈しました。

② 福祉団体活動費助成事業

豊岡市内の福祉団体を対象に社会参加と交流の場づくりや組織化の支援・促進を目的に共同募金配分金事業として助成を行いました。

今年度より助成内容を見直したことにより、新たに1団体より助成申請がありました。

助成先	金額
豊岡市民生委員児童委員連合会	500,000円
豊岡市老人クラブ連合会	195,000円
豊岡市身体障害者福祉協会	166,000円
豊岡市婦人共励会	100,000円
豊岡市遺族会	102,000円
豊岡市子ども会連絡協議会	92,000円
NPO法人にほんご豊岡あいうえお	150,000円
合計	1,305,000円

令和5年度組織体制図

令和5年4月1日付

		正 規	嘱 託	非 常 勤	非 ヘル パー		
事務局長	1						
企画総務課長	1	企画総務課	3	1			
		課長補佐	2	1			
地域福祉課長	1	地域福祉課	2	2	6		
		課長補佐	5	1			
		専門官					
		課長補佐	1		1		
		課長補佐		1	2		
		課長補佐	1	1	2		
			2	1	3		
			2		6		
		課長補佐 (総合相談 センター所長)	1	障害者相談支援事業所	4	1	1
				総合相談・生活支援センター	3		
				豊岡地域包括支援センター	8	3	2
城崎・竹野地域包括支援センター	2			1			
城崎・竹野地域包括支援センター竹野分室	2						
日高地域包括支援センター	4			3	1		
出石・但東地域包括支援センター	3						
出石・但東地域包括支援センター但東分室	2						
在宅福祉課長	1			在宅福祉係	1		
		課長補佐 (ケアマネ及び ヘルパー—統括 マネージャー)	1	豊岡北ケアプランセンター	4		1
				日高ケアプランセンター	4	1	
				出石・但東ケアプランセンター	3	2	
				専門官(出石・但東)	1		
				豊岡ヘルパーステーション	1	2	15
		竹野ヘルパーステーション	2	3	7		
		日高ヘルパーステーション	2	1	20		
		出石ヘルパーステーション	2	3	18		
		課長補佐 (デイ及び小規 模多機能統括マ ネージャー)	1	豊岡港デイサービスセンター	3	2	6
竹野デイサービスセンター	2			4	10		
竹野南デイサービスセンター	1			1	6		
日高西デイサービスセンター	5			5	8		
日高東デイサービスセンター	3			3	10		
但東デイサービスセンター	2			2	9		
専門官(但東デイ)	1						
地域福祉・生活支援拠点ぐるらん	3			3	7		
訪問入浴事業所	1			1	8		
小計	97			49	89	60	
総計	295						
(前年度比較)	2	△8	△6	4			